

TEC-FORCE

被害状況調査班／小樽・道路班



被災箇所は山奥で細い道が多く、車での移動が困難。酷暑の中を調査道具を背負い、徒歩で登っていました。

県の主要な作物であるミカン畑へ続く市道が膨大な土砂崩れで途絶え、自ら啓開作業を行う住民。



熱さと急峻な斜面を長時間歩いたため、隊員の履くシューズのゴム底が溶け剥がれるアクシデントもありました。



四国の急峻な道を TEC隊が調査のミッション



北海道各地や地方整備局から集結したTEC-FORCE隊員と情報交換し、効率よく調査を進めました。



小樽開発建設部から派遣した部隊は、愛媛県宇和島市で被災状況の調査にあたりました。酷暑の中での踏査でしたが出会った被災地の方からの応援も受け、状況を報告書にまとめ、宇和島市長へ手渡しました。